

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【国語】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成31年度	1年	<p>○教材文を読んで登場人物の気持ちなどを考える際、自分の考えをもてない児童がいる。</p> <p>○読み書きがまだ完全に習得できていない児童が数名いる。助詞や拗音、促音の表記の間違いが多く、十分に定着できていない。</p> <p>○したことや思ったことを文章で表現することや話すことに慣れていない。</p>	<p>○場面の様子を想像しながら読む力</p> <p>○正しく表記する力</p> <p>○書きたいことを書ける力</p> <p>○話したいことを話す力</p>	<p>○友達のことを聞き、自分との相違点に気付かせることを通して、近い考えを見付けさせる。</p> <p>○音読や言語事項の習得については、継続して指導する。漢字は、成り立ちの指導をしながら興味をもたせ、意欲的に取り組ませるようにする。</p> <p>○折に触れて文を書く活動や話す活動を取り入れ、文章を書いたり話したりする経験を増やす。友達の作文を紹介する機会を設ける。</p>
令和2年度	2年	<p>○教材文を読むことはできるが、問題文の意味を正確に捉えることが十分でない。</p> <p>○時間や事柄の順序を考えながら、自分の経験と結び付けて書くことが十分でない。</p> <p>○漢字練習のときは書くことができるが、文や文章の中で使うことが難しい。</p>	<p>○題意を捉えて、正確に教材文を読む力や解答を見直す力</p> <p>○順序が分かるように整理して、順序を表す言葉を使って書く力</p> <p>○日常的に漢字を使うことができる力</p>	<p>○問題文を声に出して読む。題意を確認する。最後に必ず見直す時間を設け、正確に読み取る力を育てる。</p> <p>○「まず・つぎに・そして・さいごに」など順序を表す言葉を意識して発言させることで、表現力を高めていく。</p> <p>○作文や日記のときに習った漢字を必ず使わせるようにする。</p>
令和3年度	3年	<p>○登場人物の気持ちを考えた際、考えをワークシートやノートにまとめることができるが、自信をもって発表する児童は少ない。</p> <p>○新出漢字が多く、既習した漢字の活用が定着できていない。</p> <p>○教科書などの文章を間違えずに、気持ちを込めて読める児童が少ない。</p>	<p>○自信をもって自分の考えを相手に伝える力</p> <p>○漢字を活用する力</p> <p>○正しく読む力</p>	<p>○少人数での意見交流を取り入れ、考えを伝えることに自信をもたせていく。友達と同じ意見でも、自分の言葉で伝えていくことを習慣化させる。</p> <p>○家庭学習でも漢字の学習を取り入れる。また、既習した辞書の活用をして、漢字を使う意識を高めていく。</p> <p>○日頃から音読を練習する機会を多く取り入れる。家庭学習でも音読を出し、積み重ねるようにしていく。</p>
令和4年度	4年	<p>○登場人物の気持ちを考えることはできるが、どうしてそう考えたのか根拠をもって説明することができる児童が少ない。</p> <p>○漢字を学習しても、読み書きが定着できていない児童がいる。</p> <p>○文章を書く際、改行、内容のまとめなどに気を付けて書くことが難しい児童がいる。</p>	<p>○根拠をもって自分の考えを説明する力</p> <p>○既習の漢字の読み書きを理解し、正しく使う力</p> <p>○文章を正しく書く力</p>	<p>○既習事項を確認する時間や文章を音読する機会を増やすことで内容理解を深めていく。</p> <p>○漢字テストなどを繰り返し行い、理解を図る。文章の中でも既習の漢字は使用するよう指導する。</p> <p>○授業の中で、文章を書く機会を計画的に取り入れる。友達の文章を読む機会を設ける。</p>
令和5年度	5年	<p>○考えたことを、自分なりの表現で友達に伝えることができない児童がいる。</p> <p>○言葉の意味についての理解が弱い。</p> <p>○学習したことを生かして、書いたり読み進めたりする意識が足りない児童がいる。</p>	<p>○自分の考えを分かりやすく伝える力</p> <p>○言葉の意味を理解する力。</p> <p>○既習事項を生かして取り組む力</p>	<p>○考える視点を明確にしてから活動に取り組ませる。</p> <p>○「コトバンク」を活用し、辞書による意味調べを並行して取り組む。</p> <p>○単元ごとに、学年の系統性を意識させて取り組ませる。</p>
令和6年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【社会】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和3年度	3年	○身近な社会の課題について、興味や関心をもち、取り組む児童が全体的に多いとは言えない。	○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度	○児童の経験から、課題を見出したり、問題を解決したりできるよう、教師の一方的な学習にせず、相互のやり取りを活発にできるようにする。
令和4年度	4年	○資料やグラフを読み取り、身近な社会の課題を見いだすことができる児童が少ない。	○資料やグラフを読み取る力	○児童が読み取る視点が明確になるように発問したり、資料を精選したりする。また、児童同士で話し合わせる時間を作る。
令和5年度	5年	○社会的事象を自分の生活経験と結び付けて考えられる児童が少ない。	○社会的事象を自分事として考える力	○児童が興味をもてるような導入の工夫をする。またペアやグループ学習を通して、色々な考えに触れられるような授業づくりをする。
令和6年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【算数】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成31年度	1年	<p>○数の分解・合成がスムーズにできる児童とそうでない児童との差が大きい。</p> <p>○足し算か引き算か、なくなるのか違いを求めるのかなどの文章問題の読み取りが難しい。間違っただけを覚えてしまう。</p>	<p>○数を分解したり、まとまりとしてとらえたりする力</p> <p>○文章を的確に読み取る力 ○素早く正確に計算する力</p>	<p>○朝学習や宿題などで繰り返し練習を積むようにする。</p> <p>○くり上がりのたし算、くり下がりのひき算も、半具体物の操作を多く取り入れ、理解の助けとする。</p> <p>○問題文を読み取れない場合には、分かっていることと聞かれていることを整理し、問題場面を絵や図で表してから考えさせるようにする。</p> <p>○いろいろな問題に取り組みせ、式の意味を意識し、筋道を立てて考えられるようにする。</p> <p>○問題文を読んで、児童自身が計算方法を考え、それを自分の言葉で分かりやすく説明する活動を重視する。</p>
令和2年度	2年	<p>○かさや長さの単位と測定についての理解が十分でない。</p> <p>○時刻を読めるようになってきているが、経過した時間や戻す時間を求める問題が苦手な児童が多い。</p> <p>○3位数、2位数の数の構成の理解が十分でない。また、繰り下がりのある計算をスムーズにできないため、2位数の筆算が苦手である。</p>	<p>○単位の意味を理解し、かさや長さの単位換算をする力 ○時間を生活と結び付けて考える力</p> <p>○数を分類したり、まとめて考えたりする計算力</p>	<p>○モジュールや宿題などで既習事項を繰り返し練習させる。</p> <p>○単位と数直線を関連させて、考えるようにさせる。</p> <p>○日常的に時刻と時間の問題を出す。</p> <p>○問題文を読む際に、生活場面と関連付けて、考えさせる。</p> <p>○10のまとまりを意識させたり、フラッシュカードを使ったりして、2位数+1位数、2位数-1位数の計算をさせる。</p>
令和3年度	3年	<p>○繰り下がりや九九など、既習の計算が未習熟の児童が多い。</p> <p>○時刻と時間、長さなど身近な単位についての理解が不十分であり、生活経験をもとに解決することが苦手な児童が多い。</p> <p>○文章問題の内容を理解し、式や図に表すことが苦手な児童が多い。</p>	<p>○既習事項を用いて、正確に計算する計算力</p> <p>○身近な単位について、生活と結びつけて考える力</p> <p>○場面と数字を結びつけて考え、表現する力</p>	<p>○年間を通して、計算練習の時間を十分に確保し、繰り返し練習させる。</p> <p>○日常生活の中で、時間や長さなどの単位を意識させ、感覚と数量を結び付けて考えさせる。</p> <p>○数直線、線分図などに表現し、式と結び付けて考えさせる。</p>
令和4年度	4年	<p>○既習の計算が身に付いてきている。しかし、苦手な児童の傾向として、九九が身に付いていないことや繰り下がりなどの指導が十分でないことである。</p> <p>○大きな数の問題になると、桁が多くなることで、空位を0と書けない児童が多い。</p> <p>○文章問題の内容を理解し、式や図に表すことが苦手な児童が多い。</p>	<p>○既習事項を用いて、正確に計算する計算力</p> <p>○4桁ごとに新たな単位を取り入れる力</p> <p>○場面と数字を結び付けて考え、表現する力</p>	<p>○個別指導を充実させ、計算練習の時間を十分に確保し、繰り返し練習させる。</p> <p>○ます目のノートに位取り表を書いたり、補助線で位が変わる所の目印にしたりすることで意識を高める。</p> <p>○図示したり、数直線、線分図などで表現し、式と問題文を結び付けて考えさせる。</p>
令和5年度	5年	<p>○四則計算は身に付いているものの、小数の除法を苦手とする児童がいる。また、小数の除法において、余りの大きさを正確に表せない児童がいる。</p> <p>○答えを出すことができるものの、それに至る過程を説明することができない児童が多い。</p>	<p>○正確に計算する計算力</p> <p>○思考の流れを表す表現力</p>	<p>○朝学習の時間や個別指導の時間等を使い、復習の時間を適宜設ける。</p> <p>○求めることや分かっていることを正確に把握させ、それを数直線等に表す活動を多く取り入れる。</p>
令和6年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【理科】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和3年度	3年	<p>○観察や実験に積極的に取り組むが、その結果や考察を言葉に表現する力が十分でない。</p> <p>○学習した内容を、学習評価テストなどの問題に生かすことが十分でない。</p>	<p>○自分の考えを表現する力</p> <p>○問題を解決する力</p> <p>○文章を理解する力</p>	<p>○初めから自由記述にはせず、選択式にしたり、考えがまとまっている児童を紹介して書き方を参考にさせたりして身に付けさせていく。</p> <p>○観察や実験の考察を終えた後に、その内容に関する問題を提示して、問題にも慣れていけるようにする。</p>
令和4年度	4年	<p>○自分が立てた予想を証明するためにはどのような実験をすればよいか考えさせる指導が十分ではない。</p> <p>○観察や実験に積極的に取り組むが、その結果からどのようなことが分かったか表現することができる児童が少ない。</p>	<p>○実験方法や証明方法を考える力</p> <p>○結果から考えをまとめる力</p>	<p>○話し合い活動等を通して、根拠のある予想や仮設を基に問題解決できる実験方法を考えていけるように意識させる。</p> <p>○何について実験をしたのかを意識させる。また、少人数での意見交流を取り入れ、考えを伝える機会や学級全体で検討する時間を十分に取る。</p>
令和5年度	5年	<p>○観察や実験に意欲的で積極的に取り組むが、調べた結果を整理する力や考察する力が弱く、知識につながらない児童が多い。</p>	<p>○考察する力や知識を習得する力</p>	<p>○結果を整理することや自分の考えを表現する活動を多く取り入れ、経験を積ませる。</p> <p>○復習問題に繰り返し取り組みせ、その際、実験の結果等にも触れるようにする。</p>
令和6年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【音楽】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成31年度	1年	<ul style="list-style-type: none"> ○歌うときに声があまり出せない児童や、逆に叫ぶようにして歌う児童がいる。 ○拍の流れに合わせて、リズムを打つことができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○情景を想像しながら楽しく歌うことができる力 ○拍の流れを感じながらリズムを打つ力 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌う姿勢を意識させ、発声練習を取り入れる。 ○リズムを打ちながらの言葉遊びを授業の初めに取り入れる。
令和2年度	2年	<ul style="list-style-type: none"> ○聴き取る力が弱い児童がいる。 ○拍にのってリズムを打つことができない児童がいる。 ○旋律を音名で口ずさんだり演奏したりする際、短いフレーズを覚えられない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞曲や範唱、範奏を聴き、特徴を感じ取る能力 ○拍にのってリズムを打ったり楽器を演奏したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○特徴が視覚的に分かりやすい掲示物を使用する。 ○リズムリレーや身体を使った音遊び等、楽しみながら取り組むことができる活動を取り入れる。 ○1, 2小節単位で進めるなどして、スモールステップで集中して取り組むことができるようにする。
令和3年度	3年	<ul style="list-style-type: none"> ○楽譜を見て正しいリズムで演奏することが難しい児童がいる。 ○リコーダーの運指を覚えるのが苦手な児童、手の構えを保持するのが難しい児童、息の強さを調節するのが難しい児童がいる。 ○少しの間違いで挫けてしまい、取り組むことができない児童が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽譜を読み、拍にのって正しいリズムで演奏する力 ○リコーダーの運指を覚え、手の形を保ち、息の強さに気を付けてやわらかい音色で演奏する力 ○演奏中に間違っても、挫けずに繰り返し練習に取り組もうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単なリズム譜を読んで打つ活動を頻繁に取り入れる。 ○毎時間、運指表を掲示する。机間指導で手の形を指導して回る。毎回、息の強さを数値で評価し、どの程度の強さで吹くとよいか分かりやすくする。 ○スモールステップでの学習を心がけ、自信をもてるようにする。
令和4年度	4年	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーの運指を覚えるのが苦手な児童、手の構えを保持するのが難しい児童、息の強さを調節するのが難しい児童がいる。 ○音程が取れない児童が一定数いる。 ○集中できる時間が短かったり少しの間違いで挫けてしまい、取り組むことができなかったりする児童が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーの運指を覚え、手の形を保ち、息の強さに気を付けてやわらかい音色で演奏する力 ○音程を保って歌う力 ○集中して学習に取り組み、演奏中に間違っても、挫けずに繰り返し練習に取り組もうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーが苦手な児童には運指表を示す、運指を入れた楽譜を渡すなど個別対応する。 ○音の高さに気を付けて範唱を聴かせる、教師がそばで一緒に歌う、音程が確かな児童を近くに立たせるなど個別に対応する。 ○スモールステップでの学習を心がけ、自信をもてるようにする。
令和5年度	5年	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい発声で歌うことができる児童が多いが、正しい音程で歌うことや聞き合って歌うことが不十分な児童がいる。 ○感染対策でなかなか取り組めなかったリコーダーの演奏技能が十分に身に付いていない児童が多い。 ○音楽記号を覚えて使いこなせるまでに至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○呼吸や発音に気を付け、楽曲にふさわしい表現で声を響かせて歌う力。 ○運指を覚え、呼吸やタンギングに気を付けて楽曲にふさわしい表現でリコーダーを演奏する力 ○簡単な楽譜を見て、リズムを打ったり楽器を演奏したりする力、反復記号に気を付けて演奏したり、強弱記号をもとに表現を工夫したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーが苦手な児童には運指表を示す、運指を入れた楽譜を渡すなど個別対応する。 ○音の高さに気を付けて範唱を聴かせる、教師がそばで一緒に歌う、音程が確かな児童を近くに立たせるなど個別に対応する。 ○スモールステップでの学習を心がけ、自信をもてるようにする。
令和6年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【図工】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成31年度	1年	<p>○作品を作ることを通して、クレパスやはさみ、のりなどの使い方を安全に気を付けて練習したが、まだ上手に出来ない児童もいる。</p> <p>○友達の作品を見たり聞いたりして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付かせるための指導が十分でない。</p>	<p>○身近な材料や扱いやすい用具を使用し、表し方を考えて表す力</p> <p>○自分の作品や友達の作品を見たり話を聞いたりして、作品のよさに気付く力</p>	<p>○造形活動の基礎となる技能は、今後も繰り返し指導を続ける。</p> <p>○絵の具については、準備から片付けの仕方まで一つ一つ丁寧に指導を行う。</p> <p>○彩色法については、順序立てて教え、表現の幅を広げる。</p>
令和2年度	2年	<p>○図工の時間に絵や工作で表現することを楽しみにしている児童がいる一方で、根気や技能が必要なことには、意欲がなかなか湧かない児童もいる。</p> <p>○色を塗るときや、紙を折ったり切ったりするときに、指先や道具を慎重に扱うことができない児童がいる。</p>	<p>○手や体全体を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫することができる力。</p> <p>○創造的に発想や構想をしたり、身の周りの作品などから、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる力。</p> <p>○楽しく表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力。</p>	<p>○導入を工夫し、誰もがやってみたい、できそうと思わせる題材を取り入れる。</p> <p>○紙や身近にある素材を中心に、絵の具の筆・はさみなどの道具の基本的な扱いについて繰り返し指導する。</p> <p>○鑑賞の時間を確保し、友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、今後の作品づくりにつなげていくことができるようにする。</p>
令和3年度	3年	<p>○図工の時間に絵や工作で表現することを楽しみにしている児童がいる一方で、根気や技能が必要なことには、意欲がなかなか湧かない児童もいる。</p> <p>○色を塗るときや、紙を折ったり切ったりするときに、指先や道具を慎重に扱うことができない児童がいる。</p>	<p>○手や体全体を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫することができる力。</p> <p>○創造的に発想や構想をしたり、身近にある作品から、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる力。</p> <p>○進んで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力。</p>	<p>○導入を工夫し、誰もがやってみたい、できそうと思わせる題材を引き続き取り入れる。</p> <p>○紙や身近にある素材を中心に、絵の具の筆・はさみなどの道具の基本的な扱いについて繰り返し指導する。</p> <p>○友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、豊かな鑑賞の機会が設定できるようにする。</p>
令和4年度	4年	<p>○図工の時間に絵や工作で表現することを楽しみにしている児童がいる一方で、根気や技能が必要なことには、意欲がなかなか湧かない児童もいる。</p> <p>○色を塗るときや、紙を折ったり切ったりするときに、指先や道具を慎重に扱うことができない児童がいる。</p>	<p>○手や体全体を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫することができる力。</p> <p>○創造的に発想や構想をしたり、身近にある作品から、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる力。</p> <p>○すすんで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力。</p>	<p>○導入を工夫し、誰もがやってみたい、できそうと思わせる題材を引き続き取り入れる。</p> <p>○のこぎり、かなづち、電動糸のこぎりなどの道具の基本的な扱いについて繰り返し指導する。</p> <p>○友達の作品を見たり、自分の作品の工夫を友達に話したりして、豊かな鑑賞の機会が設定できるようにする。</p>
令和5年度	5年	<p>○授業に意欲的に取り組める児童が多い一方で、根気や技能が必要なことには、意欲がなかなか湧かない児童もいる。</p> <p>○発想したり、形に表すことに苦手意識のある児童、個別指導が必要な児童が数名いる。</p>	<p>○創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから、自分の見方や感じ方を深めたりすることができる力</p> <p>○材料や用具を活用し、表し方を工夫することができる力</p> <p>○主体的に表現したり、鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わいながら、形や色などに関わる力</p>	<p>○タブレットを使い、調べ学習やアイディアスケッチを行い、発想や表現を構想する時間を十分に取る。児童の発想が沸くような声掛けをする。</p> <p>○不器用な児童には、製作の仕方の手本を実演して見せたり、児童同士の教え合い学習を行ったりする。</p> <p>○鑑賞では作品について良さを認め合う時間を設定する。</p>
令和6年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【家庭】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
令和5年度	5年	○生活と技術との関りを考えさせる際、生活経験の差がある。	○基礎的・基本的な生活の技能 ○積極的に社会に関わろうとする態度	○家庭科に限らず、教科横断的に社会生活の出来事と関連付けた授業に取り組む。 ○友達と意見交流を図りながら、様々な考えを取り入れられるようにする。
令和6年度	6年			

指導上の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画【体育】

年度	学年	指導上の課題分析	教科で身に付けさせたい資質・能力	具体的な授業改善策
平成31年度	1年	<p>○運動の決まりを守り仲良く運動する力</p> <p>○水にもぐって目を開け、いろいろな水中での遊びをする力</p>	<p>○運動の決まりを守り仲良く運動する力</p> <p>○水にもぐって目を開け、いろいろな水中での遊びをする力</p>	<p>○ボールゲームなどでは、チームで仲良く協力する活動を取り入れ、ゲームの楽しさを味わわせるとともに、繰り返しゲームなどを行い、決まりやルールを守って、楽しく遊べるようにする。</p> <p>○つかむ、まわる、ぶら下がるなど遊具等を使った様々な動きを経験させて、体を動かす良さや楽しさを味わわせていく。</p> <p>○それぞれの課題に応じて水慣れや水遊びを行い、水に対する恐怖心を払拭させる。</p>
令和2年度	2年	<p>○どの活動にも意欲的に取り組む児童が多いが、動き方を知り、友達のよい動きを見付けることが十分でない。</p> <p>○決まりを守って仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたりすることが難しい児童がいる。</p>	<p>○友達のよい動きを見付け、簡単な遊び方を工夫する力</p> <p>○友達のよさを見付ける力</p> <p>○勝敗を受け入れる態度</p>	<p>○動きを見合う時間を設け、お互いによりよい動きを見付け認め合う力を身に付けさせていく。</p> <p>○活動時間を十分確保して運動遊び自体の楽しさを味わわせることで、勝敗を受け入れやすくする。</p>
令和3年度	3年	<p>○運動の動き方を知り、その動きをよりよくしようと追求する力</p> <p>○決まりを守って仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたりする力</p>	<p>○友達のよい動きを見付ける力</p> <p>○自分で考えたことへ挑戦する力</p> <p>○話を理解する力</p> <p>○勝敗を受け入れる態度</p>	<p>○運動のポイントが分かる資料を提示したり、ICT機器を活用して友達のよい動きや自分の動きを確認して、課題を明確にして取り組ませていく。</p> <p>○初めのルールを分かりやすくするように工夫し、どのような内容だとみんなが楽しめるのか考える時間を十分に設けていく。</p>
令和4年度	4年	<p>○運動の動き方を知り、その動きをよりよくしようと追求する力</p> <p>○決まりを守って仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたりする力</p>	<p>○友達のよい動きを見付ける力</p> <p>○自分で考えたことへ挑戦する力</p> <p>○勝敗を受け入れる態度</p>	<p>○運動のポイントが分かる資料を提示したり、ICT機器を活用して友達のよい動きや自分の動きを確認して、課題を明確にして取り組ませていく。</p> <p>○初めのルールを分かりやすくするように工夫したり、よかった動きを振り返りで賞賛していく。</p>
令和5年度	5年	<p>○運動の基本的な技能を身に付け、体力を高める</p> <p>○友達と協力し、工夫しながら活動をする力</p>	<p>○運動の基本的な技能</p> <p>○友達と協力しながら楽しく運動をする態度</p>	<p>○場の工夫、練習形態の工夫をすることで、基本的な動作を身に付けさせる。</p> <p>○友達との活動について、振り返りをさせながら取り寄せ、互いの活動が楽しくなるように声を掛け合うようにさせる。</p>
令和6年度	6年			